

岡山市区づくり推進事業助成申込書



(地域活動部門)

令和 6 年 1 月 18 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ ヒラジマケンコウフクシイインカイ
 団体名 平島健康福祉委員会 (HKF)
 所在地
 連絡先
 フリガナ
 代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	平島・元気で輝き事業
事業実施小学校区・地区	平島小学校区
事業実施回数	新規 ・ ☒ 継続 9 回目 / 【平成 28 年度から】
課 題	① 少子高齢化を見据え、事業の継続及び会員ネットワークづくりの強化 ② 近隣地域との情報交換及び連携活動の場づくり
事 業 の 目 的	平島学区において今後更に進むことが予想される少子高齢社会に向け、高齢者が元気で社会参加ができ、自立した生活を送ることができるよう、また老若男女が一緒になって自助・互助の考え方を理念に、地域で支え合う仕組み作りを構築していくこと ・ 平島学区に住む高齢者などの健康と福祉に寄与すること ・ 多世代が交流することで将来に向け地域全体で支え合うまちづくりを構築していくこと

事業の内容	① 高齢者などが困ったときにお手伝いができる“生活支援サービス”の実施 ② 高齢者が歩いて行ける所で交流ができる“井戸端カフェ”の開催 ③ 高齢者の健康づくりや多世代が交流できる“三世代交流ふれあいサタデー”や“介護予防教室”“研修会”の開催 ④ イベントなど地域の情報共有化のため“HKFニュース”の発行 ⑤ 災害発生時にすぐに地域で支援活動（医療・介護関係）ができる体制づくり
期待される成果・目標	・本事業の推進により“支え合いのまちづくり”の実現 ・多世代のふれあいによりコミュニティの輪が更に拡大すること ・一人でも多くの高齢者が元気で輝きながら、地域とつながり社会参加や活動が出来ること ・支え合い活動の「自助・互助の理念」を地域に浸透させることができ、特に災害発生時においても活動できるシステムをつくること
企画などの工夫	・令和4年度に新規開設した「平島っ子広場・サポーター会」が小・中学校において、学習や遊びの場を通して、様々な支援活動をしていくこと ・介護予防教室や井戸端カフェの参加人数を増やすために“カラオケお楽しみ会”“体力チェック会”などの“何でもあり企画大作戦”をプラスしてみる
協働する団体等	・基本的には平島安全安心ネットワークに所属する各団体（24団体）及び上道公民館と協働しながら活動を継続 ・ケースバイケースで瀬戸・上道ケアマネ情報交換会など近隣地域の各種団体とも連携予定

事業の 情報公開	・平島学区においては連合町内会 HP への掲載、HKF ニュースの全戸配布 ・つながる協働広場や市民の広場への投稿 ・各町内会、地域センターや公民館への情報発信やポスター掲示 ・SNS の活用による情報発信
学区 地区 への 広がり	・平島安全安心ネットワーク所属団体への HKF としての今後の計画及び方針の共有化を図り、支援して欲しいことはしっかり要請する ・上道中学校の生徒さんへの、“三世代交流ふれあいサタデイ” のボランティア要請の働きかけの継続 ・近隣他学区の活動団体との交流を通してお互いが切磋琢磨できる環境づくり（サロン交流会）などへの支援活動（「認知症」寸劇など）
前 年 度 か ら の 見 直 し 拡 充 点	<見直し点> ・HKF の運営システムの改善（震災発生時の医療・介護での支援体制づくりのための、特別サポート部門の創設） ・“何でもあり企画大作戦” により「ふれあいサタデイ元気で輝き体操/井戸端カフェ」の新会員 20% 増を目指す・・・具体的には、体力測定用の機器を少しずつ整備しながら、フレイル予防の意識付けを科学的なデータを裏付けにして、各集いに普及拡大を図る。
次 年 度 以 降 の 予 定	① 次年度以後の活動計画 大きな変化はなく今まで通りの活動計画で継続になる可能性が強い ②資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定
そ の 他 P R し た い 点	多世代が交流することで将来に向け地域全体で支え合うまちづくり施策の一つ「三世代交流ふれあいサタデイ」をどうぞご見学においで下さい。

事業スケジュール

令和6年度活動計画

- ★介護予防教室“ふれあいサタデイ・元気で輝き体操”は毎週土曜日午前中にコミュニティハウスで開催
- ★“三世代交流ふれあいサタデイ”7/20（土）、1/18（土）
- ★“HKF 研修会”は8月「ACP」2月「認知症」開催予定
- ★“生活支援サービス”および“井戸端カフェ”は今まで通り実施
- ★“平島っ子広場・サポーター会”4月～1月は平島小学校児童クラブ、8月平島小学校は10月～3月は上道中学校で支援予定
- ★HKF ニュース発刊6月、12月予定
- ★上道地区サロン会へ「認知症・寸劇」の出前講座を2～3か所で予定
- ★地域のイベント支援(コミュニティ祭り4/29、安全安心ネットワーク祭7/7、敬老会9/15、振興まつり11/3)

収 支 予 算 書(予測)

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	157,000	159,000	
実施団体負担金	42,000	50,000	会費
参加者負担金	30,000	25,000	サービスチケット代、カフェ参加費など
協賛金	50,000	50,000	
寄附金、他収入	25,000	30,000	地域企業など
収入合計	304,000	314,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	20,000	65,000	コピー用紙、紙コップなど体力測定機器(握力計、長座体前屈計)
②食糧費	40,000	40,000	お茶代など
③印刷製本費	30,000	30,000	印刷代
④燃料費	10,000	10,000	ガソリン代
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	60,000	60,000	携帯電話代、切手代など
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	0	0	
⑨使用料・賃借料	30,000	40,000	コミュニティハウス使用料など
⑩原材料費	0	0	
⑪委託料	24,000	0	
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	30,000	35,000	講師謝礼
⑭保険料	20,000	20,000	
⑮旅費	30,000	14,000	研修時交通費
小計(①)	294,000	314,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経	10,000		
小計(②)	10,000		
支出合計(①+②)	304,000	314,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	○希望する ・ 希望しない
----------------	---------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

手持ち金が少ないため

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。